

平成 23 年度の筑紫野市体育指導委員研修会

今年度の研修はカミーリアにて開催されました。主な内容は、「講和」と「グループディスカッション」、それに「ペタンク実技」です。今年度は体育指導委員（以下「体指」）27名のうち、10名が入れ替わるというフレッシュな陣容となりました。

開会式の後、参加者の緊張をほぐすため恒例のアイスブレイキングを行いました。



得永良光六段体指と前田美香四段体指による剣道型(昇段審査等にて行われるあまり目にすることのない演技です)が披露されました。ものすごい気迫に、一同アイスブレイキングというよりアイスハードとなってしまいました。

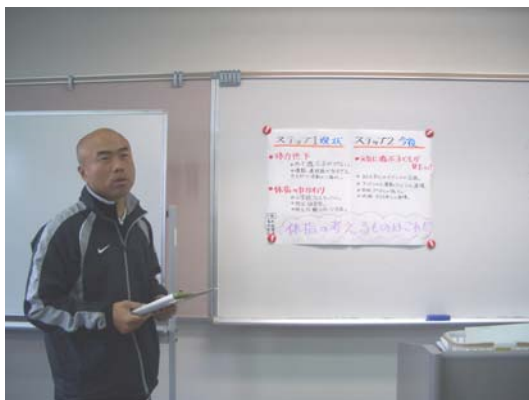


新任の体指のあいさつの後、講和の始まりです。講師は生涯学習センターの亀井美和さんで、ユニークな雰囲気の中で、「体育指導委員とは……求められる役割像の変遷」について話しをして頂きました。

体指の役割は、個人への実技指導から地域のスポーツ企画に参画推進（プランナー）へ、更にスポーツ団体や行政の間を取り持つ調整役（コーディネーター）へと変遷しているとのことでした。



次は、グループディスカッションです。班編成を①地域を元気に！体指ができること②生涯スポーツを広げよう③子供へのアプローチ④学校へ行こう！新体力テストと体指⑤いきいきウォーキングで体指もイキイキをのテーマ別に分けて、現状と今後という切り口で検討を行ってもらいました。



各班、検討結果を紙にまとめて発表です。現状の問題提起や解決の糸口など予定時間を大幅に超えてしまうほど皆さんの熱い思いが伝わってきました。

発表の後、質疑応答が行われ、最後にこのワークショップのまとめを亀井美和さんに話して頂きました。

これにて午前の部は終了です。

昼食後はペタンク実技です。外で行う予定でしたが、悪天候により多目的ホールでの実技となりました。ペタンクは、室内外を問わずできるスポーツです。



{(1コート×3チーム)×3コート}とし、全員がゲームと審判を行えるようローテーション形式としました。初めてペタンクを実技する新人体指も多かったので、ゲームの基本や審判のやり方、用紙への記入方法を同時に体験できたことは貴重な経験となりました。



最後に、5月22日に開催される「筑紫野市いきいきウォーキング」のPRポスターが配られ、ウォーキング概要と各小学校地区への広報依頼を、本研修会の司会進行役である事業部長の石坂隆道体指から話しがありました。

以上で今年度の研修は終わりです。研修Ⅰでは日本のスポーツ施策の中での体指の役割をワークショップ形式で学び、午後ではペタンクを実践しました。天候は午後から小雨となりましたが、研修会は予定通り滞りなく実施され閉会となりました。

この研修の経験を活かして、今後は筑紫野市の体指の一員としてスポーツの普及に努めて行きたいと思えます。